

2016 西宮市小学校区防災訓練 「子ども防災コーナー」担当

2016年4月10日（日）：西宮浜小学校
参加者：約100名

2016年5月22日（日）：広田小学校
参加者：約200名

2016年9月10日（土）：段上西小学校
参加者：約200名

2016年10月30日（日）：鳴尾小学校
参加者：約150名

2016年12月4日（日）：上甲子園小学校
参加者：約150名

私たちは昨年度実施した子ども向けの防災啓発イベント「防災ウォッチ」の活動において、災害発生時に危険となるものや、身を守ってくれるものを妖怪に見立て、約30種のキャラクターを作成しました。そのキャラクターを用いて今年度は、西宮市の防災啓発課が主催する小学校区防災訓練の1コーナー、「子ども防災コーナー」を担当しました。企画段階から防災啓発課の方々と何度も打ち合わせを重ね、台本や本番で使うスライドデータを作りあげていきました。



「子ども防災コーナー」は、地域の小学生に向けての防災学習コーナーです。子ども達に分かりやすく防災知識を伝え、またその知識の定着を図るために話し方の工夫や、時間内で楽しく防災を学んでもらえるように体を動かせるゲーム形式で進行することにしました。

昨年度のイベントで作成した教材を改良し、私たちの作成したキャラクターを「妖怪図鑑」にまとめ、子ども達をはじめとした、参加して下さる全ての地域の方々へ毎回配布しました。小さいお子さんからご高齢の方まで、また小学校の先生などの幅広い世代の方々にご好評いただき、「分かりやすい」「可愛い」「地域の自治会で配布したいから沢山もらえないか」といった嬉しいお声をかけていただきました。



「子ども防災コーナー」では、自己紹介を行った後、先に配布した妖怪図鑑を参考にしながら、クイズを行いました。前のスクリーンに映し出される妖怪が、災害時に危険となるものなのか身を守ってくれるものかを考えてもらいました。体育館という場所を考え、紙で回答してもらう形式から、体を動かした〇×ゲームとし、全員参加型のものに変更しました。



その後、「何が落ちたゲーム」をしました。子ども達に「落ーちた落ちた」という呼びかけをすると、いつも元気で大きな声で「なーにが落ちた」と即答してくれる様子がとても印象的でした。この後は通常の遊びとは違って、私たちの作成した妖

怪キャラクターをスクリーンに映し、その妖怪が災害時危険なものになる場合は、しゃがんで頭を守るポーズを、身を守ってくれるものの場合は、手ですくうポーズをしてもらいました。



みんなすぐに覚えてくれ、小学生だけでなく幼稚園の子や大人の方まで参加してくれたので、とても嬉しかったです。スピードを上げてもしっかりとついてきてくれたことから、知識の定着を実感することができました。

今年度の活動は、残念ながら雨で1校が中止になり、全5校での開催となりました。次年度は私たちの後輩たちがこの活動を引き継いでくれるので、「防災ウォッチ」の更なる広がりを期待しています。

